

なごやぬいぐるみ病院 名大祭ブース出展報告書

文責：社本穂俊

連絡先：yasu_shamoto@yahoo.co.jp

●実施概要

- ・実施日：2012年6月9日～10日
- ・活動場所：名古屋大学東山キャンパス 教育棟3階ラウンジ
- ・当日参加した学生の人数：25人
- ・参加者(アンケート回収者数)：保護者こども合わせ約130名(保護者45名こども83名)
- ・活動時間：10:00～17:00
- ・活動内容：お医者さん体験、薬剤調合・注射器体験
- ・保健教育テーマ：保健教育はなし
- ・当日の流れ(園児の動き、学生の動きが分かるように)

時間	行ったこと
6/9	-----
8:40	最寄り駅集合
9:00	準備開始
10:00	実施開始
～16:00	
17:00	解散
22:00～	反省会 SkypeMTG
6/10	-----
9:30	集合
10:00	実施
～16:00	
17:00	撤収完了
～	反省会

●準備について

- ・今回の準備に向けて初めてMTGを行った日：5月1日
- ・準備に来た学生の人数：1日平均 10人
準備合計 20人
- ・当日までの準備の日程・内容

日程	話し合ったこと、準備したもの
5月1日	SkypeMTGにて： ・ブースで行う内容の決定（上述のとおり）。 ・役割分担 ・物品調整（作成含め、誰が何を管理するか）
5月11日	SkypeMTGにて： ・注射体験、薬局体験の当日の流れたたき台を議論 ・必要物品確認 ・各部門（カルテ、注射、薬局、アンケート）進捗報告 ・これからやることの確認
5月21日	SkypeMTGにて： ・各部門進捗報告、問題点相談
5月26日	同上 ・領収書などの諸注意 ・略
6月1日	・当日の全体の流れを確認

●診察（おいしゃさんごっこ）について

～前回からの改善点・工夫した点、良かった点～

- ・カルテ”お医者さん体験 ver.”を作った。
- ・薬剤調合、注射体験などを基本的な問診に加えることができた。
- ・準備日程のラスト2日間はほとんど練習できた（それまでにほぼ完成していた）。
- ・2日間の日程だったので、当日の昼と夜に反省会を行い、改善を常に意識した。
- ・大学の昼休憩のMTGで準備の話を進めていたので効率が良かった。
- ・当日は学生が率先して行動できていた。（子供の誘導、保護者への対応、ビラ配り）
- ・処方箋、薬剤袋、注射する血管の走行など、細かい点にも工夫することができた。
- ・回数を重ねるうちに、体で覚えることができた。
- ・会場に来ていた保護者に対して細かな対応ができていた。
- ・薬の色がカラフル（カラーシュガーを数色作成したため）だったので好評だった。

～今回の実施の反省点と、それに対する改善策～

- ・準備になかなか参加できていなかった（当日始めて参加する）学生への手順説明など。
- ・カルテ、問診キットなど、物品の管理が甘かった&探すのに手間取った（なごやぬいの春実施に引き続き）。管理者や当日配置の事前考慮、余分なものを持ってこないことを徹底

する。

- ・全体のタイムキーパーほしかった(人数が足りなかった)。
- ・全体を見て状況把握し、人を動かしたりできる人がほしかった(代表が途中で抜ける時間があった)。

・待っている人への対応。 ←参加者が多く、待ち時間があった。

⇒順番待ちの子供たちに、簡単な保健教育をするのはどうか？

⇒椅子置きたい。

⇒説明～実践の間の時間が・・・

・注射体験では水を使用したので、水対策が必要だった

⇒カルテなど紙の保護、使用した水を捨てるバケツ、ゴミ袋

・学生スタッフのおしゃべりがうるさい

・練習で、全体を通したものがあまりできなかった(1年生や、あまり準備来れなかった人などが)

・名大の予定優先の準備だったので、他大学の人があまり参加できなかった。

⇒初日の午前はリハーサルにしてもよかったのでは？

・シフト表やフローチャートの確認・持参を強調しておくべきだった。

・その他、準備においては時間や人の管理が主な反省点として挙げられた。

⇒その時いる予定の人の中からリーダーを決めておくとよかった？

・会場をデコレーションしておきたかった(名大祭の規約でできなかった)。

あらゆる年代層がやってきて、対応に困る場面があった。

⇒たくさんの参加者が来る可能性あるので、短縮 ver.または簡略 ver.も用意しておいた方がいい。(時間調整可能)

⇒注射、調剤とも、幼くて手先が不安定な子が参加する可能性はおおいにあるので、そういう子でもできるような簡略 ver.を用意しておいた方がいいです。

⇒一方で、大きい子用の物があってもよかった。本格的(ぼい)な調剤とか。

・薬剤師ブースの数が足りなかった。

・呼び込み工夫(チラシ、看板、セリフ内容「お医者さん体験」etc.)

使ったもの、準備したもの(作成したものも含む)

*できれば写真も貼り付けてください。

～診察～

- ・診察キット（元々あり）
- ・カルテ for 名大祭
- ・フローチャート：診断
- ・ミニ白衣

～薬剤～

- ・薬（カラーシュガー）：砂糖を食紅で染色。
- ・薬包紙
- ・処方箋
- ・フローチャート：薬剤調合
- ・薬剤師説明の紙芝居
- ・秤
- ・スプーン
- ・エプロン
- ・薬局チェックリスト（アレルギーなどの）
- ・持ち帰り用お薬袋（表紙）
- ・薬剤師体験クイズ（子供が体験による知識を復習するために）

～注射～

- ・注射器（キットに元からあり）
- ・色水
- ・注射用”血管”
- ・脱脂綿

～準備～

- ・薬局説明パワポ
- ・薬局フローチャート
- ・薬剤師説明(for 子供)のガイドライン
- ・注射体験ガイドライン
- ・保護者・子供アンケート
- ・ケーシー

・説明の際、注意した言葉や表現

・調剤で使用したカラーシュガーを、「砂糖」と子供に伝えないようにした。

→誤嚥しても大丈夫なように砂糖を使用したか、名大祭の規約により、砂糖と伝えることが許されなかった。保護者の方には手紙で伝えた。

・薬局の説明に紙芝居を用いた。

・参加者の反応：

子供：菓が砂糖だと指摘する子も見られた。

幼い子はフローチャートあたりがつまらなかったみたい？

菓剤は、綺麗な色の菓剤調合ができると年齢層問わずとても嬉しそうであった。

親：暇そうな人、子供の白衣姿を喜ぶ人、子供の誘導など学生に協力的だった人など。

理解：理解してくれた

楽しさ：楽しんでいた

行動変容：わからない

その他

・同じテーマの保健教育をやる大学へのアドバイス

今回は保健教育は行いませんでした。大学祭に出店する団体さんに向けて書きます。

- ・たくさんの参加者が来る可能性があるので、待ち時間に何かできるものがあればいいかもです。
- ・学園祭の出し物として、あらゆる年代層が来ることを考慮したものをつくるべし。一つじゃなくて、何パターンかを準備しておくとい。

●その他（任意）

>企画まで進まなかったが、話し合いで出た保健教育テーマ

- ・保護者も参加できるなにか
- ・ぬいぐるみ役を保護者にやってもらう
- ・白衣着た子供の写真撮ってもらう
- ・大学生には、視診、問診、触診、打診の体験してもらう（かなり本格的に）

>その他

- ・PR効果はすごい。

⇒ピラ配りをするとたくさんのおもちゃたちが来た。

「子どもも楽しめるイベントがあって良かった」という声を聞くことができた。

>保護者アンケート結果

<http://sdrv.ms/MX3ZX7>

>子どもアンケート結果

<http://sdrv.ms/Ln8Sfk>

>学生アンケート結果

<http://sdrv.ms/L07f5B>

>保育園の先生からのアドバイス

なし

>保育園との連絡などで困ったこと、気をつけたこと

なし